

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-1)

受験番号 (4桁) () 氏名 ()

[問題1] 「健やか親子21(第2次)」の指標において、「21世紀の新たな課題として取り組む必要があるもの」という観点から設定されたのはどれか。

1. 思春期保健対策
2. 喫煙・飲酒対策
3. 児童虐待防止対策
4. 乳幼児健康診査事業等の母子保健水準の維持

[問題2] 平成30年(2018年)のわが国の死亡の状況について正しいのはどれか。

1. 死因順位別にみると第1位は心疾患である。
2. 男性の部位別にみた悪性新生物(腫瘍)死亡数は胃が最も多い。
3. 女性の部位別にみた悪性新生物(腫瘍)死亡数は大腸が最も多い。
4. 乳児の死因順位の第1位は周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害である。
5. 子宮の悪性新生物(腫瘍)による死亡の悪性新生物(腫瘍)死亡全体に占める割合は、年々上昇している。

[問題3] 平成30年(2018年)のわが国の出生について正しいのはどれか。

1. 出生数は107万1304人である。
2. 出生順位別出生数の構成割合(%)は第2子が最も多い。
3. 出生時の体重で2.5kg未満の低体重児の割合は年々減少している。
4. 母の年齢(5歳階級)別にみると、最も出生数が多いのは30～34歳である。

[問題4] 妊婦健康診査について正しいのはどれか。

1. 妊婦健康診査はすべて公費負担されている。
2. 経腹的超音波検査は毎回必ず実施すべき検査項目である。
3. 妊婦健康診査においてHTLV-1抗体検査は標準的な検査項目である。
4. 妊娠28週以降分娩までは、1週間に1回妊婦健康診査を受診するよう推奨されている。

[問題5] ボウルビーBowlby, J.が母子関係形成理論で述べたのはどれか。

1. 3歳児神話
2. 基本的信頼
3. アタッチメント
4. インプリンティング

[問題6] 子宮体を説明している文章はどれか。2つ選べ。

1. 子宮の上方2/3ほどの部分である。
2. 結合組織が多く、分娩時に展退する。
3. 長さ7～8cmの粘膜におおわれた筋肉の管である。
4. 筋層が大部分を占め、平滑筋が輪状・斜走・縦走とさまざまな方向に走行している。
5. 左右一対の子宮底の子宮卵管角から出て蛇行し、卵巣を抱きかかえるようにして腹腔に開口する管状臓器である。

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-2)

[問題7] 思春期の健康問題と看護について正しいのはどれか。

1. 3か月以上月経が停止している場合、受診を勧める。
2. 月経困難症の症状の緩和方法として冷罨法を用いる。
3. 体脂肪率が高くなるほど月経異常の頻度が増す傾向にある。
4. 平成30年度(2018年度)の性感染症報告数によると、15～19歳では、淋菌感染症は女性の報告が多い。

[問題8] 老年期の特徴について正しいのはどれか。

1. 加齢による難聴は伝音(性)難聴が多い。
2. ひとり暮らし高齢者の7割以上が男性である。
3. 老年期における不健康な状態の期間は男性のほうが長い。
4. 結晶性知能・流動性知能の加齢パターンのモデルでは、結晶性知能は一生涯を通じてのびつづけ、流動性知能は加齢にともない低下する。

[問題9] HIVに感染している妊産婦について正しいのはどれか。

1. 陣痛発来後に帝王切開術を実施する。
2. 出産時にはAZTの点滴が施行される。
3. 母子感染予防対策により、児への感染の危険性は25～30%となった。
4. 妊婦に対する抗ウイルス療法では薬剤耐性を防ぐため、多剤併用療法を中止する。

[問題10] 通常妊娠35～36週頃に行う検査項目はどれか。

1. 血液型
2. GBS培養
3. クラミジア抗原
4. 子宮頸管長測定
5. 50gGCT(ブドウ糖負荷試験)

[問題11] 妊娠11週の超音波検査による胎児発育評価の指標となるのはどれか。

1. 頭殿長(CRL)
2. 大腿骨長(FL)
3. 腹部周囲長(AC)
4. 児頭大横径(BPD)
5. 体幹横断面の前後径(APTD)

[問題12] 32歳の初産婦。妊娠37週の妊婦健診でベッド上にてノンストレステストを行っていた。

30分後に突然、吐き気、発汗、息切れを訴え、顔面蒼白となった。

最も考えられるのはどれか。

1. HELLP症候群
2. 過換気症候群
3. 常位胎盤早期剥離
4. 妊娠高血圧症候群
5. 仰臥位低血圧症候群

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-3)

[問題 13] 月経周期の調節機序について①～⑤に当てはまるホルモンの名称を下記の語句から選び、解答欄に記述しなさい。

視床下部から分泌される (①) の指令により、下垂体から (②) が分泌される。

(②) は卵巣を刺激し、発育した卵胞から (③) が分泌され、子宮内膜が増殖する。

卵胞が成熟し (③) の分泌がピークに達すると、そのフィードバック作用により下垂体は (④) を大量に分泌する。

(④) は排卵を促すと同時に卵胞の黄体化を指令する。黄体から分泌される (⑤) は子宮内膜を分泌期にし、妊娠準備状態をつくる。

- ・アンドロゲン ・エストロゲン ・プロラクチン ・オキシトシン
- ・プロゲステロン ・卵胞刺激ホルモン (FSH) ・黄体化ホルモン (LH)
- ・性腺刺激ホルモン放出ホルモン (GnRH) ・ β エンドルフィン

[問題 14] 次の文章を読み () 内に適切な語句を入れなさい。

1. 子宮内の胎児の姿勢を (①) という。
2. 胎児の縦軸と子宮の縦軸との関係を (②) という。
3. 児背が母体の (③) 側に向かうものを第1胎向という。
4. 児背が母体の (④) 方に向かうものを第1分類という。
5. 縦位のうち児頭が子宮の下方にあるものを (⑤) という。

[問題 15] 乳幼児突然死症候群 (SIDS) について正しいのはどれか。

1. 生後2か月をピークに多発する。
2. 年間死亡数は徐々に減少している。
3. 死亡状況調査および解剖検査によって原因を同定できる。
4. リスク因子としては、うつぶせ寝、非母乳栄養、妊娠中のアルコールとされている。

[問題 16] 「日本人の食事摂取基準 (2020 年版)」に示されている妊娠中の食事摂取基準 (1 日あたり) における、「26 歳、妊娠 27 週、身体活動レベル I」の妊婦の 1 日あたりに必要なエネルギー摂取量はどれか。

1. 1800kcal
2. 1850kcal
3. 1900kcal
4. 1950kcal
5. 2000kcal

[問題 17] 妊娠中の栄養について正しいのはどれか。

1. リンの吸収率が低下する。
2. カルシウムを付加して骨粗しょう症を予防する。
3. マグネシウムの過剰摂取と妊娠高血圧症候群との関連が指摘されている。
4. 妊娠初期はビタミン A をサプリメントなどで、多めに摂取することが推奨される。
5. キンメダイやクロマグロなど大型の魚介類は、1 週間で 80g 程度の摂取量にとどめる。

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-4)

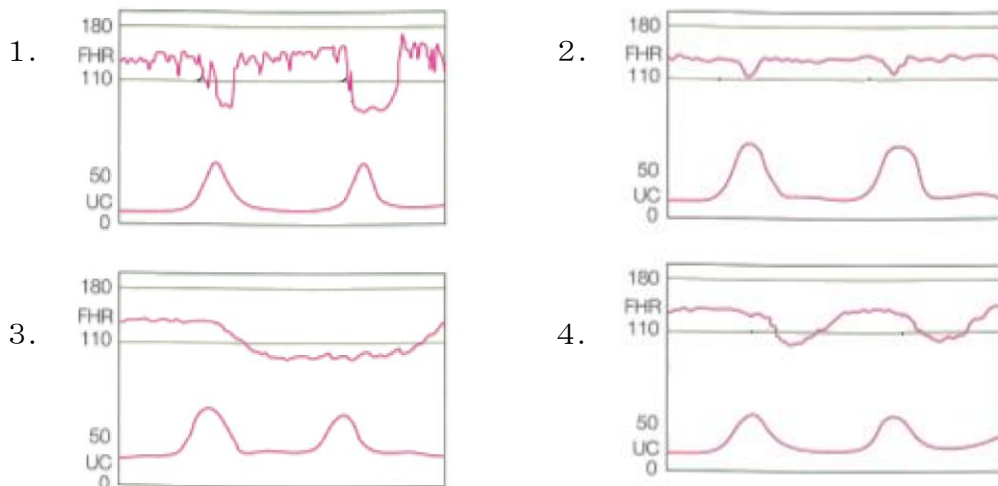
[問題 18] 分娩の前兆でないのはどれか。

1. 子宮頸部が熟化する。
2. 軽度の陣痛様子宮収縮が起こる。
3. 上腹部が圧迫され食欲がなくなる。
4. 粘液のまじった少量出血をみとめる。
5. 膀胱の圧迫・刺激により頻尿となる。

[問題 19] 骨産道について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 骨盤は左右の寛骨・仙骨・尾骨からなる。
2. 骨盤出口部には産科学的真結合線が含まれる。
3. 骨盤各面の前後径の中点を結んだ線を骨盤軸という。
4. 骨盤澗部は前後径が長径となり、骨盤腔のうちで最も狭い。
5. 産科学的に入口部、澗部、出口部の3つの部分に分けられる。

[問題 20] 下図は分娩中の胎児心拍数モニタリング所見である。変動一過性徐脈はどれか。



[問題 21] 分娩入院前の電話によるおもな問診事項で優先順位が最も低いのはどれか。

1. 経産回数
2. 分娩予定日
3. バースプラン
4. 交通手段と所要時間
5. 妊娠経過中の異常、医師からの指摘事項

[問題 22] 分娩が進行している状態を示す変化で適切でないのはどれか。

1. 産痛部位の下方への拡大
2. 粘稠性血性分泌物の排出
3. 肛門の抵抗感・肛門の哆開
4. 胎児心音の最良聴取部位の側腹部への変化

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-5)

[問題 23] 肺炎球菌肺炎について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 治療はセフェム系抗菌薬が有効である。
2. 10～50%の症例で胸膜炎を合併し胸痛を伴うこともある。
3. 肺炎球菌は多糖体からなる莢膜をもつグラム陰性菌である。
4. 症状としては微熱と咳嗽、白色の喀痰をみとめることが多い。
5. 胸部X線検査ではエアブロンコグラムをみとめることがある。

[問題 24] 二分脊椎について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. わが国では1,000の分娩に5の割合で発生する。
2. 多くは感染防止のため早急な閉鎖手術を必要とする。
3. 母体の葉酸の摂取不足が発生に関与するといわれる。
4. 特徴的な症状として体重増加不良・言語発達の遅延がみられることが多い。
5. 出生時は無症状であっても、成長につれて上肢の運動機能障害を認めることが多い。

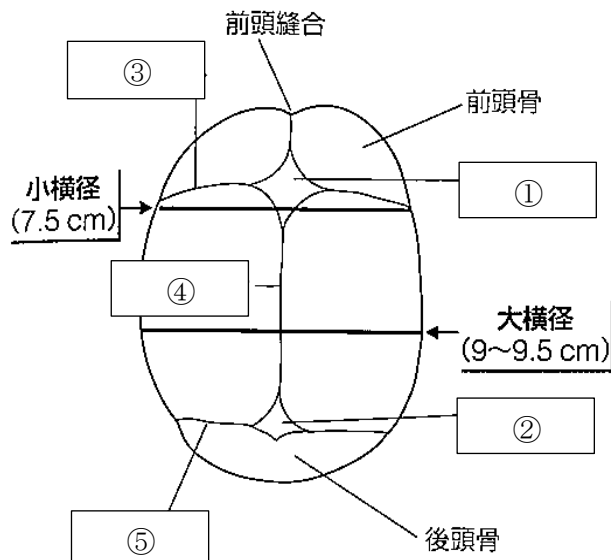
[問題 25] 降圧薬とその副作用の組み合わせで正しいのはどれか。

1. アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬・・・めまい・動悸
2. カルシウム拮抗薬・・・・・・・・・・勃起障害・月経異常
3. ループ利尿薬・・・・・・・・・・顔面紅潮・上下肢の浮腫
4. ACE阻害薬・・・・・・・・・・低カリウム血症・脂質異常症

[問題 26] 深部静脈血栓症について正しいのはどれか。

1. 右下肢に多くみられる。
2. 確定診断は下肢静脈造影で明らかになる。
3. 急激な下肢の腫脹と冷感を伴って発症する。
4. 約30%の頻度で肺塞栓症をおこすことがある。
5. 保存的治療としては早期離床と局所のマッサージがある。

[問題 27] 下図は胎児の頭蓋の解剖図である。①～⑤の名称を答えなさい。



令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-6)

[問題 28] 虫垂炎について誤りはどれか。2つ選べ。

1. 乳幼児や高齢者に好発する。
2. 発症早期にブルンベルグ徴候や筋性防御が出現する。
3. マックバーニー圧痛点到圧痛があるのが特徴である。
4. 典型的な初期症状は吐き気・嘔吐、食欲不振、心窩部痛である。
5. 誘因としては暴飲暴食・過労・反復する下痢などがあげられる。

[問題 29] 尿もれのある患者の看護で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 尿もれに対応する下着やパッドの利用をすすめる。
2. 尿もれが頻繁に起こる場合はなるべく外出を控えるよう指導する。
3. 頻回にトイレに行かなくていいように水分を控えるよう指導する。
4. 重い物を持つなど腹圧がかかる動作で骨盤底筋を鍛えるよう指導する。
5. 膣の引き締め運動や固定されたものにつかまってしゃがむ運動を行うことを提案する。

[問題 30] 妊娠成立の過程について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 排卵された成熟卵子は卵管采によって卵管内に取り込まれる。
2. 卵子は子宮頸管から上がってきた精子と卵管采の中で受精する。
3. 受精卵は体細胞分裂を生じ、卵割を行うことで細胞数を増やす。
4. 受精卵は受精後 3～5 日で子宮内膜に接着して侵入する。
5. 着床後、栄養膜から形成される絨毛から胎盤ラクトゲンが分泌されて妊娠黄体の維持を促す。

[問題 31] 胞状奇胎について正しいのはどれか。

1. 発生数は出生数 1,000 に対して 7.9 である。
2. アジア地域に比べて欧米地域に多く発生する。
3. つわりは通常よりも強い症状となることが多い。
4. 子宮は通常の妊娠週数に対して大きく、硬くなることが特徴である。

[問題 32] 子宮内膜症について誤りはどれか。

1. 20 歳代に最も好発する。
2. 不妊症の原因の一つになりうる。
3. 症状として月経困難症や続発性過多月経、性交痛などをきたす。
4. 子宮筋層内に子宮内膜に類似した組織が存在する場合、子宮腺筋症とよぶ。

[問題 33] 胎盤剥離徴候はどれか。

1. 子宮底が上昇して硬く細長くなり左側に傾く。
2. 臍帯に装着したコッヘル鉗子が 10cm 以上下降する。
3. 恥骨結合上部を圧迫すると臍帯が外陰部の内側に引きこまれる。
4. 片手で臍帯を持ち他方の手で子宮底を軽くたたくと、臍帯を持っている手に衝撃が伝わる。

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-7)

〔問題34〕臍帯について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 臍帯の長さが25cm以下のものを臍帯過短とよぶ。
2. 臍帯の長さが100cm以上のものを臍帯過長とよぶ。
3. 臍帯過長では分娩時に胎児の下降を妨げて遷延分娩をきたす。
4. 破水前に臍帯が胎児の先進部の下方にあるものを臍帯脱出という。
5. 臍帯脱出の場合は胎児の予後が不良なので、ただちに帝王切開を行う必要がある。

〔問題35〕胎児の分娩機転で正しいのはどれか。

1. 第1回旋で胎児のオトガイが胸壁に近づき、小泉門が下降することで前後径が最大径となる。
2. 第2回旋でさらに児頭が下降するにつれて、小泉門は母体の側方から後方に向かって回旋する。
3. 第3回旋で胎児の項部は恥骨結合下縁に固定され、これを支点に児頭が伸展反屈する。
4. 第4回旋で肩甲が骨盤内を下降するのに伴い、娩出された胎児の顔面は母体の前方から側方へ向かう。

〔問題36〕産褥期の身体的変化において、正常を逸脱している可能性が最も高いのはどれか。

1. 分娩直後に臍下2横指であった子宮底が、12時間後臍高の位置に触れた。
2. 産褥3日目で赤色悪露を認めた。
3. 産褥14日目で臍と恥骨の中央で子宮底に触れた。
4. 産褥2か月で月経が再来した。

〔問題37〕母乳栄養の利点でないのはどれか。

1. 愛着形成に有効である。
2. 生理的黄疸が早期に治癒する。
3. アレルギー症状が起こりにくい。
4. 消化吸収がしやすく、胎便の排泄を促す。
5. 不飽和脂肪酸のリノール酸、オレイン酸を多く含む。

〔問題38〕褥婦の授乳の場面において最も適切な指導をしているのはどれか。

1. 「乳房のタイプがI型なので、赤ちゃんは脇飲みがおすすめですよ。」
2. 「毎回の授乳ごとに最初に含ませる乳房を変えるようにしましょう。」
3. 「冷凍母乳用バッグで冷凍保存した母乳は、電子レンジで解凍できますよ。」
4. 「授乳時最初にみられる前乳の方が脂質が多いので、児の食欲を満足させてくれますよ。」

〔問題39〕産褥早期の下腹部痛の原因として誤りはどれか。

1. 尿閉
2. 後陣痛
3. 子宮破裂
4. HELLP 症候群
5. 帝王切開術後腹腔内出血

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-8)

[問題 40] 褥婦の子宮底の観察手順において誤りはどれか。

1. 観察は排尿後が望ましい。
2. 仰臥位になってもらい、褥婦の両膝を伸ばし腹壁を伸展させる。
3. マッサージをしすぎると筋肉を疲労させ、子宮筋の緊張を抑制する原因となる。
4. 恥骨結合上縁から子宮の外縁をさぐり、子宮の形（高さや幅）、かたさ、傾きを確認する。

[問題 41] 産後に経験する疼痛への対処法で正しいのはどれか。

1. 痔核・脱肛がある場合は排便後に微温湯で洗浄することをすすめる。
2. 縫合部痛には、分娩後 24 時間以内の会陰部の温罨法が効果的である。
3. 授乳時の後陣痛には、薬剤の母乳への移行を考慮し鎮痛薬は使用できない。
4. 乳房緊満による疼痛が強い場合は、授乳と授乳の間に温湿布やあたたかいシャワーを浴びることによって痛みや浮腫を軽減する。

[問題 42] 乳汁分泌を促進するホルモンはどれか。2 つ選べ。

1. エストロゲン
2. オキシトシン
3. プロラクチン
4. プロゲステロン
5. ヒト絨毛性ゴナドトロピン

[問題 43] 分娩 2 時間後に産婦の観察を行った。「体温 37.0℃、脈拍 90 回/分、血圧 100/52 mmHg、SpO₂ 99%、子宮底臍上 1 横指（分娩直後：臍高）、子宮硬度良好、出血 50g（分娩直後 380 g、1 時間値 78g）、最終排尿は 4 時間前、尿意なし」
アセスメントで正しいのはどれか。

1. 子宮底の高さは正常である。
2. 分娩後の出血量は正常範囲内である。
3. ショックインデックス (SI) は 1.1 である。
4. 膀胱充満がみとめられる場合には導尿を行う。

[問題 44] 生下時体重 3220g の新生児。4 生日目の体重は 2980g であった。
体重減少率で正しいのはどれか。

1. 7.0%
2. 7.5%
3. 8.0%
4. 8.5%

[問題 45] ビタミン K の投与について誤りはどれか。

1. 1 回あたり 2 mg を経口投与する。
2. 消化管出血・頭蓋内出血の予防のために投与する。
3. 完全母乳栄養児の場合 K2 シロップの投与は必要ない。
4. シロップは 1 回目と 2 回目は糖水または蒸留水で 10 倍に薄めて与える。

令和3年度 助産学科看護学一般試験問題 (9-9)

[問題 46] 以下の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 出生体重 3900g — 巨大児
2. 妊娠 21 週での出生 — 超早産児
3. 出生体重 1000g — 極低出生体重児
4. 出生体重 1300g — 超低出生体重児

[問題 47] 新生児の観察について正しいのはどれか。

1. 頭囲測定は眉間の高さで水平になるように計測する。
2. バイタルサイン測定は呼吸数→体温→心拍数の順に行う。
3. 皮膚温を測定する際には体温計を顎下にはさんで測定してもよい。
4. バイタルサインの観察は、児の意識レベルが State5～6 の状態で行うことが適切である。

[問題 48] 新生児蘇生のアルゴリズムにおいて出生直後のチェックポイントでないのはどれか。
2 つ選べ。

1. 心拍数
2. 早産児
3. 皮膚色
4. 筋緊張の低下
5. 弱い呼吸・啼泣

[問題 49] 乳幼児期の人見知りや分離不安が出現するのはいつか。

1. 生後 4 か月
2. 生後 8 か月
3. 1 歳半
4. 3 歳

[問題 50] 身長 100 cm、体重 25 kg の幼児。身体発育の評価はどれか。

1. やせ
2. 正常
3. 肥満傾向
4. 太りすぎ